

令和7年度東近江市集団指導

ケアプランデータ連携システム について

共通

東近江市福祉部長寿福祉課

ケアプランデータ連携システムについて

【ケアプランデータ連携システムとは】

居宅介護支援事業所と介護サービス事業所との間で毎月やり取りされるケアプランの情報をデータ連携するシステムです。これまで、手書き・印刷し、FAXや郵送でやり取りしていたサービス提供票や居宅介護サービス計画書等を、システム上でデータの送受信ができるようになり、業務負担軽減や経費削減が期待できます。

●実施主体：公益財団法人国民健康保険中央会



ケアプランデータ連携システムについて

【現在の利用状況】

WAMNETによると、東近江市内における本システムの利用事業所数は以下のとおりです。

東近江市内の利用事業所数：26事業所（※令和8年2月2日時点）

【地域連携の輪を広げるために】

ケアプランデータの電子的なやり取りは、自事業所だけでなく、連携先の事業所もシステムを導入して初めて効果を発揮します。地域全体での業務効率化へ現在26事業所が先行してシステムを活用されていますが、地域全体でのペーパーレス化・生産性向上を実現するためには、より多くの事業所の参画が不可欠です。

業務負担軽減とコスト削減に向け、事業所間での相互のお声掛けや、本システムの導入をぜひ御検討いただきますようお願いいたします。

ケアプランデータ連携システムについて

【費用】

ケアプランデータ連携システムについては、1事業所ごとにライセンス料として年間21,000円（税込み）の費用が掛かります。

【ケアプランデータ連携システムフリーパスキャンペーン】

国民健康保険中央会が実施する、ケアプランデータ連携システム全ての機能を1年間無料で利用できる期間限定のキャンペーンです。「導入コストが気になる」「周りの事業所を誘いたいけれど、きっかけがない」といった声に応え、実施されます。

- ・申請期間 : 令和8年5月31日（予定）まで
- ・対象事業所 : 全ての介護事業所
- ・内容 : 期間内に利用申請まで実施した場合、1年間ライセンス料が無料

※厚生労働省、介護保険最新情報Vol.1361「ケアプランデータ連携システムフリーパスキャンペーンについて」令和7年3月6日参照

ケアプランデータ連携システムについて

【参考】

- 公益社団法人国民健康保険中央会
<https://www.kokuho.or.jp/system/care/careplan/>
- ケアプランデータ連携システムヘルプデスクサポートサイト
<https://www.careplan-renkei-support.jp/index.html>
- ケアプランデータ連携システムの利用事業所の確認（WAMNET）
<https://www.wam.go.jp/wamappl/kpdrsys.nsf/top>